

観光立県千葉の実現

- ・ 観光を産業の主要な柱として位置付け
- ・ 21世紀型の新しい観光需要に対応
- ・ 千葉県の可能性を最大限に発揮する観光戦略の形成、実行

21世紀型の新しい観光地づくり

-千葉県特有の観光資源を活かした魅力ある観光地づくり-

観光立県千葉モデル推進事業(70百万円)

体験王国「ふさの国づくり」

安房自然学校特区の活性化と自然学校ネットワークの推進(17百万円)

グリーン・ブルーツーリズムの推進(3億88百万円)

おもしろ工場発見！事業(3百万円)

おいしい千葉を楽しむ仕組みづくり(2百万円)

首都圏等健康づくりモデル/ネットワーク(CLUB CHIBA(仮称))構築事業
(15百万円)

観光千葉ブランドの発信

-千葉の魅力を国内外に発信-

観光立県千葉全国キャンペーンの展開(65百万円)

もっと千葉を売り込もう事業(1億15百万円)

千葉の逸品を売り出す事業(6百万円)

海外向け誘客事業(13百万円)

旬の農林水産物を発信(2百万円)

受入体制と基盤づくり

外国人観光客受入体制の整備

成田空港を活かした外国人観光客受入体制の整備

空港周辺日本体験ツアー事業(27百万円)

観光基盤の整備

くつろぎと安らぎの宿育成事業(6百万円)

観光基盤の整備(8億94百万円)

全体的な中長期的観光構想の策定(5百万円)

観光産業の支援

観光事業者向けの資金融資制度の創設(10百万円)

「ふさの国観光みらい塾」の開設(3百万円)

経営アドバイザーの派遣(3百万円)

【重点事業】

1.2.1 世紀型の新しい観光地づくり

(1) 観光立県千葉モデル推進事業【新規】

70 百万円

「観光立県千葉の実現」を目指し、長期的な視点に立った先進的・魅力的な観光地域づくりを進めるため、各地域の特色ある地域資源を活用し、地域（事業主体は、市町村域を越えた活動ができる市町村及び観光事業者等の組織する団体とし、公募による。）が主体となって行う観光まちづくりの検討、研究やリーディングプロジェクトを支援します。

(2) 自然学校等設立推進事業

15 百万円

自然学校の設立の手法や知識等を提供するとともに、自然体験リーダー等の養成を行い、質の高い自然学校の設立を促進します。

また、「NPO法人千葉自然学校」を核として、安房地域を中心とした自然学校のネットワークを構築し、都市住民と農山漁村地域とが交流できる体験型観光への新たな観光客の受入を目指します。

(3) 参加体験型観光の推進

2 百万円

修学旅行の受け入れを促進するため、体験メニューの充実、指導方法の向上、販路拡大のための座談会や講演会を開催します。

(4) グリーン・ブルーツーリズム in 房総体験事業【新規】

1 百万円

農山漁村地域と県民及び観光関係者が一体となって、本県グリーン・ブルーツーリズムの魅力を高めるため、都市住民から募集する「房総体験大使」や観光関係者が地元住民との交流を通じて、グリーン・ブルーツーリズムの体験や農山漁村の魅力の広報、新たな観光ルート等の検討を行います。

(5) 広域グリーン・ブルーツーリズムモデル事業

6 百万円

広域によるグリーン・ブルーツーリズムの受け入れ体制を整備するため、市町村域を越えた広域モデルを公募により選定し、実践計画の作成や実践活動を支援するとともに地域への波及を図ります。（九十九里、夷隅、上総の3地域）

- (6) **都市農村交流整備事業** 20 百万円
グリーン・ブルーツーリズム推進地域で、都市と農村交流の活性化を図るため、体験農園や農産物直売所等関連施設の整備を支援します。
- (7) **都市農村交流対策事業** 7 百万円
各地域のグリーン・ブルーツーリズムを効果的に推進するため、人材養成（インストラクター）や市町村の活動を支援します。
- (8) **ブルーツーリズム推進事業** 1 百万円
漁村で開催されている潮干狩、釣り、地曳網などの漁業生産体験と連携して、漁港・漁村をめぐるスタンプラリーを実施します。
- (9) **田園空間整備事業** 2 億 36 百万円
農村を「田園博物館」ととらえ、農村の有する豊かな自然、伝統、文化等の多面的機能を改めて評価し、伝統的農業施設及び美しい農村景観等の保全、復元整備を行い、地域住民はもとより都市住民が農業農村の歴史・文化・伝統技術とふれあう場の創設を図ります。
- (10) **海岸環境整備事業** 99 百万円
漁港は、水産物の供給安定のほか、海洋性レクリエーションに対応した余暇空間の提供など、多面的な公益機能を有しています。都市住民が自然とふれあえる場として利用できるよう、緑地、広場、遊歩道、親水施設などの環境施設の整備を行います。
- (11) **漁村コミュニティー基盤整備事業【新規】** 18 百万円
農山漁村では、生活環境の整備が立ち後れています。都市と漁村が共生・対流する活力ある社会を実現するため、地元が主体となって、地域全体の振興計画と一体となり、自然観察路、駐車場、トイレなどの整備により住民参加型の新しいコミュニティづくりを推進します。
- (12) **おもしろ工場発見！事業【新規】** 3 百万円
魅力的で特色ある県内の工場等を積極的に紹介するためのPR冊子を作成するとともに、ホームページによる情報発信を行い、体験学習や修学旅行の誘致を図ります。

(13) いつでもみんなが気軽に遊べる海辺づくり事業【新規】 1 百万円
観光協会、NPO 団体、市町村等が一体となった「楽しい美しい安全で快適な海辺」を目指したゴミ、駐車場問題など緊急の課題への取り組み等、地域の特性を活かした活動を支援します。

(14) おいしい千葉を楽しむ仕組づくり・旬の土産お届け事業【新規】 2 百万円
豊富な千葉の旬の産物を千葉らしい土産品や食材として提供することにより、観光千葉の魅力向上を図るため、生産者、加工業者、宿泊業者等の異業種交流会を開催します。

(15) 首都圏等健康づくりモデル/ネットワーク (CLUB CHIBA (仮称)) 構築事業【新規】
(再掲：戦略 4) 15 百万円

2. 観光千葉ブランドの発信

(1) 観光立県千葉全国キャンペーンの展開【新規】 65 百万円
県、観光協会、JR グループ各社、観光事業者等が一体となって行う大型キャンペーンを核事業として、平成 18 年度までに徹底して観光立県千葉を売り込みます。平成 16 年度は「デスティネーションキャンペーン促進連絡協議会 (仮称)」を設置するとともに、首都圏地域においてキャンペーンを行います。

(2) 観光千葉ブランド発信事業【新規】 33 百万円
コンビニエンスストア、情報誌等を効果的に活用し、千葉県の観光・味覚情報、温泉及び体験型観光などの売込みを行うとともに、「2005 千葉きらめき総体」を観光PRの絶好の機会と捉え、情報発信に努めます。

(3) 旅フェア参加事業 5 百万円
旅の総合見本市「旅フェア 2004」に参加し、特に修学旅行にねらいを絞り、本県の魅力をPRします。

(4) もっと千葉を売り込もう事業 77 百万円
観光客の誘客を図るため、観光地、観光施設などを中心に千葉県の魅力の宣伝・紹介を戦略的に行います。

(5) 千産の逸品を売り出す事業【新規】 **6百万円**
千葉県を代表する逸品や観光みやげ品を作り出すため、本県の産品を活用した逸品開発スクールの開講や優秀な開発計画に対し奨励賞を授与することにより、商品開発を活性化します。

(6) 外国人向けプロモーション事業【新規】 **13百万円**
外国人観光客の誘客を図るため、海外旅行事業者と直接売り込みを行うとともに、海外旅行雑誌等への掲載や海外の国際観光展への出展、航空機内でのPRなどを行います。

(7) 農林水産物県内交流促進PR・キャラバン事業【新規】 **2百万円**
県内都市部と農山漁村部との双方交流を図るため、グリーン・ブルーツーリズム実践団体と魚食普及を实践する団体が連携して千葉や東葛飾地域に直接出向き、直売施設で気軽に購入できる旬の農林水産物や農林漁業体験メニューをPRします。

3. 受入体制と基盤整備

【外国人観光客の受け入れ体制の整備】

(1) 空港周辺日本体験ツアー事業【新規】 **27百万円**
成田空港での乗り換え客など空港内外で滞在時間を持つ人々に日本や千葉県の良さを手軽に体験していただくため、空港周辺地域へのツアーを企画し、千葉の魅力を積極的にPRします。

(2) 外国人向け観光情報提供事業 **3百万円**
外国人観光客に対する千葉県の認知度を高めるとともに国内への誘客活動を推進するため、英語、中国語、韓国語によるテーマ別観光パンフレットの作成等を行います。

【観光基盤整備】

(3) おもてなしリーダー養成事業【新規】 **1百万円**
観光関連事業の経営者や管理者を対象に、おもてなしの心の向上のための研修会を実施し、それぞれの事業所や地域でおもてなしを率先するリーダーを養成します。

- (4) **旅館顧客満足度向上事業【新規】** 4 百万円
旅館の質的向上を図るため、旅館事業者自らがおもてなしの水準を客観的に把握できるようなアンケートシートや改善のための手引等を開発し、普及に努めます。
- (5) **首都圏自然歩道整備** 31 百万円
首都圏自然歩道(関東ふれあいの道)千葉県コース「東京湾を望むみち」(富津市～鋸南町)の整備を進めます。
- (6) **館山港・名洗港の整備** 1 億 38 百万円
館山港の多目的観光棧橋及び名洗港のマリーナの整備を進めます。
- (7) **プレジャーボート等対策の推進** 1 億 15 百万円
放置プレジャーボート等の自主的な移動を促すため、係留施設を整備するとともに、水域利用の適正化、生活環境の確保等のために船舶の移動措置等を実施します。
- (8) **県立都市公園の整備** 1 億 89 百万円
優れた自然景観を形成し、地域の重要な観光拠点となっている富津公園及び蓮沼海浜公園の改修を行います。
- (9) **道路交通情報の提供事業** 4 億 8 百万円
渋滞、事故、所要時間などの情報提供装置の整備を行います。
また、南房総の観光地域について重点的に交通情報基盤を整備します。
- (10) **景観保全型広告整備事業** 2 百万円
歴史的建物、まち並みの保存、新たなまちづくりの景観形成を推進するため「景観保全型広告整備地区」を指定し、景観に配慮した広告物の誘導を図ります。
- (11) **ユニバーサルツーリズム促進事業【新規】** 10 百万円
高齢の方や障害のある方など様々な人々が観光のあらゆる場面で楽しめるよう、地域と連携して観光面でのユニバーサルデザイン化のための調査を行います。

(12) 観光立県千葉総合推進事業【新規】 **5百万円**

県内観光産業の振興を図り、21世紀型の質の高い観光地づくりを進めるため、観光関連団体、自治体、企業、NPO等で構成される「観光立県ちば推進協議会」と連携を図りつつ、県民や観光客の意見も聞きながら全県的な中長期的観光ビジョンを策定します。

【観光産業の支援】

(13) 観光事業者向けの資金融資制度の創設【新規】 **10百万円**

県内の宿泊滞在型観光の振興を図るために、宿泊・休憩施設の増改築、設備拡充などに必要な資金の融資制度を創設するとともに、金利負担軽減のための利子補給を実施します。

(14) ふさの国観光みらい塾事業【新規】 **3百万円**

観光産業においては人材が最も重要であることから、その育成を図るため観光事業経営者自らが主体となって考える「ふさの国観光みらい塾」を開設します。

(15) 観光産業経営アドバイザーの派遣【新規】 **3百万円**

中小企業診断士や税理士などの経営アドバイザーを派遣し、観光関連事業者の経営の革新を支援します。